

OSAKA
DOJIMA COMMODITY
EXCHANGE

■本所概要

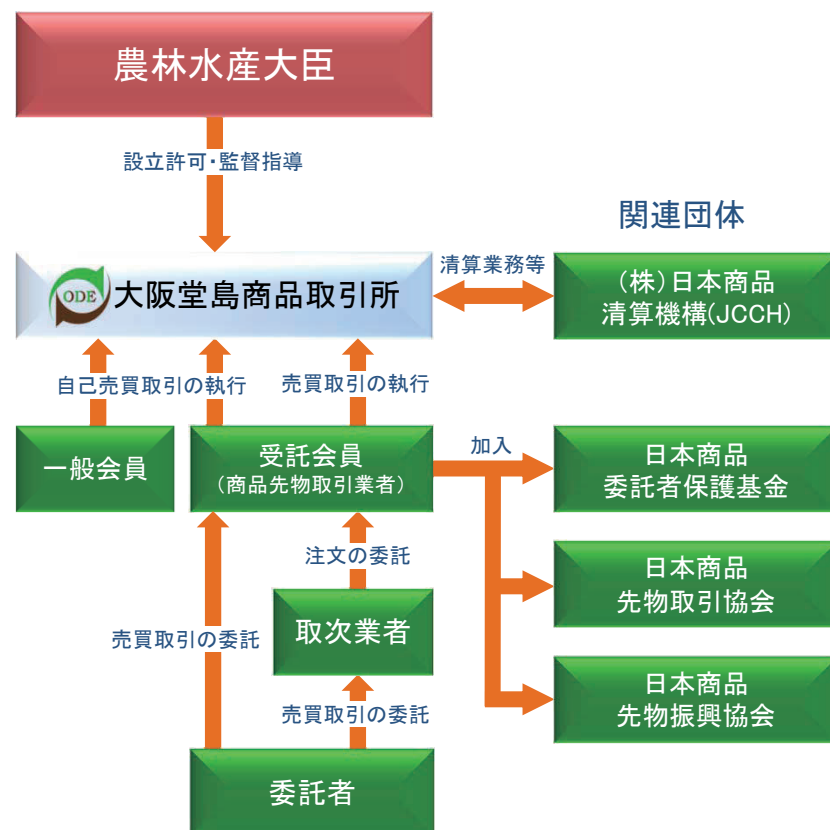
名称	大阪堂島商品取引所
所在地	〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目10番14号 東京支所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15番15号 食糧会館7階
理事長	岡本安明
設立	1952年(昭和27年)10月6日
事業目的	商品先物取引法に基づき、上場商品及び上場商品指数について先物取引並びに上場商品の実物取引をするために必要な商品市場を開設することを主たる目的とします。



■アウトライン

大阪堂島商品取引所は、商品先物取引法に基づき、農林水産大臣の許可を受けて商品先物市場を開設する非営利の会員商品取引所です。会員は直接市場で自己の取引を行うことができます。また、受託会員は、会員及び会員以外の方々の取引の委託を受けることができます。

関連団体としては、清算機関である(株)日本商品清算機構(JCCH)、委託者資産の保全業務を担う日本商品委託者保護基金(保護基金)、商品先物取引業者の自主規制機関である日本商品先物取引協会、商品先物取引の振興・啓蒙を主な業務とする日本商品先物振興協会があります。



■本所の歩み

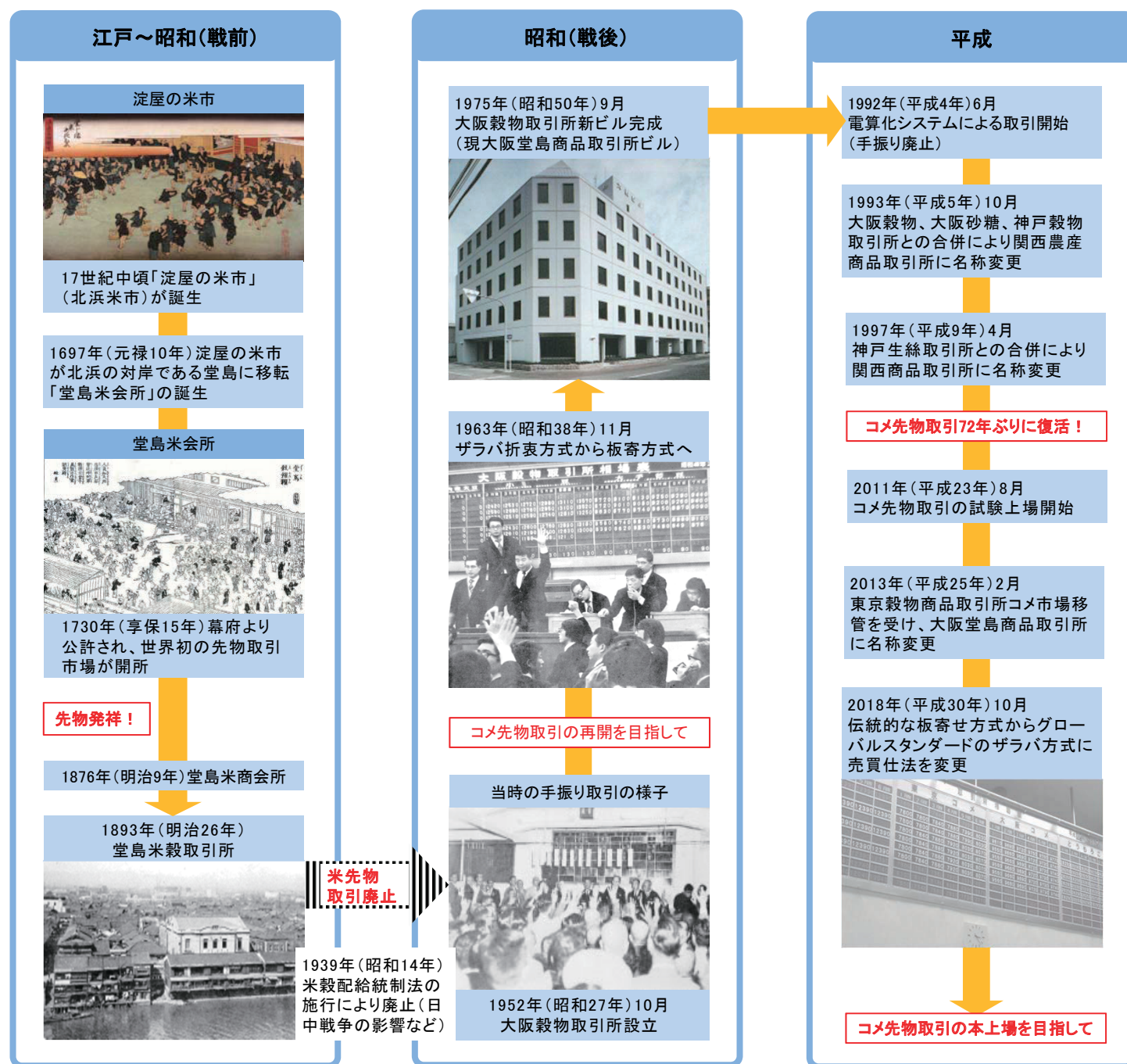
17世紀中頃、大坂で自然発生した「淀屋の米市」は、多くの商人達の参加による発展を経て、八代将軍徳川吉宗の治世のもと「堂島米会所」として大岡越前守忠相から公許されます。ここに、世界初の組織化された先物市場が誕生することとなりました。

その後、明治維新を経て時代とともに名称を変更しながら、継続して米価の形成を担っていましたが、昭和に入り戦時統制経済の下に長年の役割を終え閉鎖するに至りました。

しかし、堂島の米穀商人のコメ先物市場を求める熱意は衰えることなく、戦後になって雑穀統制が解除されたことを好機ととらえ、将来のコメ先物市場再開を視野に入れながら当面は雑穀の先物取引を行うものとして、本所の前身である大阪穀物取引所が開設されました。

平成に入り数々の商品取引所との合併を経て農産物総合商品市場としての地位を築くなか、2011年8月に念願であったコメ先物市場の再開を72年振りに果たしました。その後、東京コメ市場を引き継ぎ、国内唯一のコメ先物市場となったことを機に「堂島」の精神を受け継ぐ取引所として、「大阪堂島商品取引所」に名称変更致しました。

時代のニーズに応え、平成28年10月には「新潟コシ」が、また平成30年10月には「秋田こまち」がそれぞれ新たにコメ先物市場に加わりました。



■ 価格変動に備え、安定した食品流通に貢献してきた先物取引

商品先物市場は誰もが参加でき、「産業インフラ」や「資産運用の場」として活用され、公正かつ透明な価格形成等、国民生活に資する重要な経済的機能を担っています。

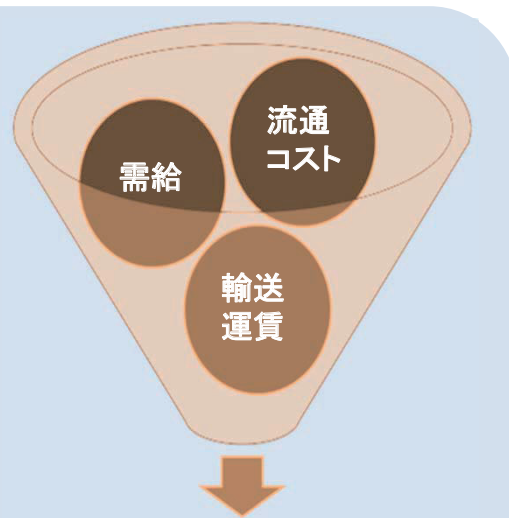
産業インフラとして

● リスクヘッジ

価格変動によるリスクを回避することができます。(先物取引は、将来の商品価格・数量を今決めた価格で、売ったり買ったりすることを約束する取引です)

● 現物の仕入れ先 販売先として

現物の受渡しを行うことで、保管コストの削減ができます。



● 公正かつ 透明な価格形成

多様な取引参加者が情報を持ち寄って取引を行うことで、公正で透明な価格が形成されます。

資産運用の場として

● 新たな投資先として

総取引金額の※3%程度の証拠金を預けることで効率的な資金運用のもとで取引をすることができます。

■ 証拠金の保全(JCCH)

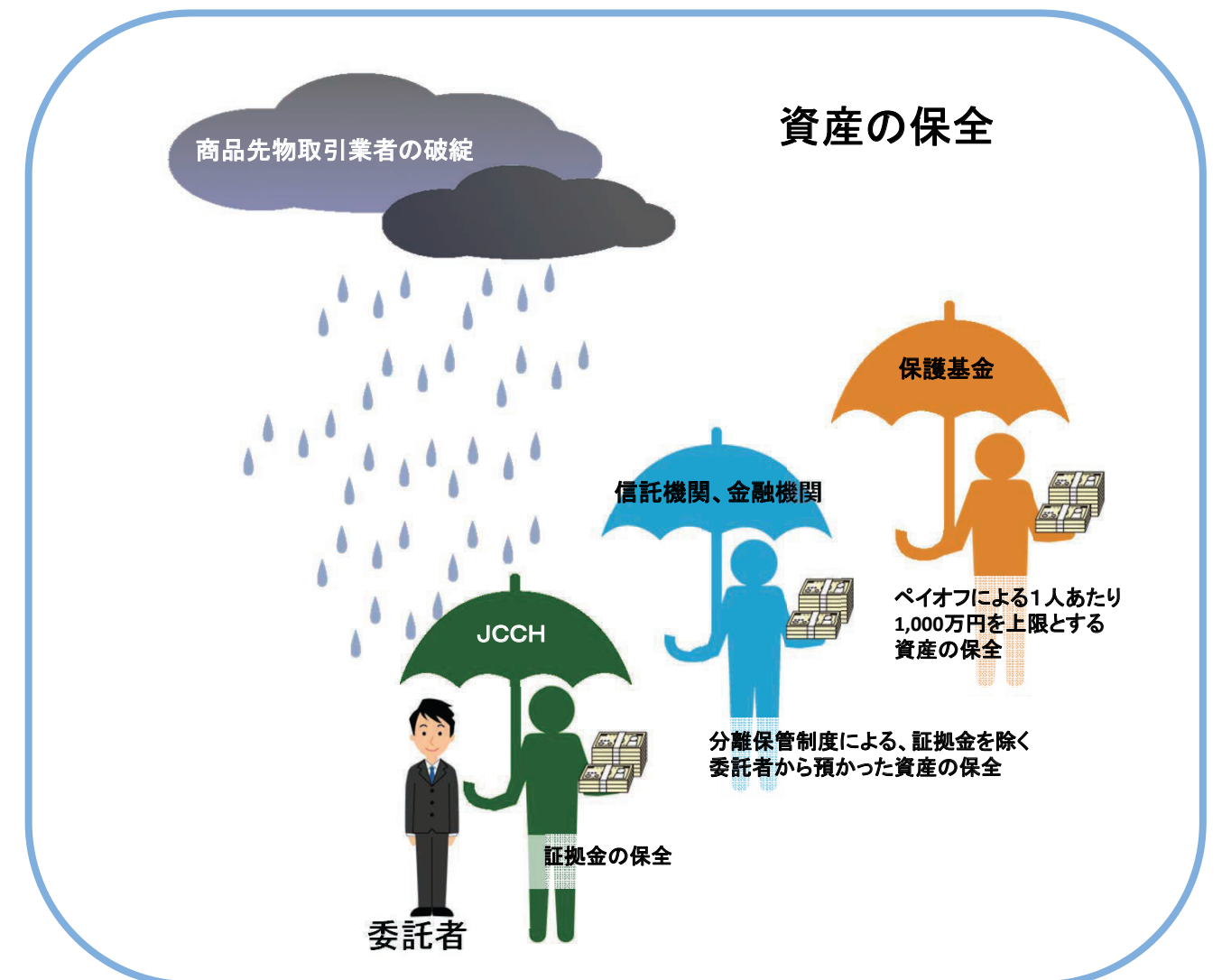
証拠金は、株式会社日本商品清算機構(JCCH)に預託されます。万一、取引を委託している商品先物取引業者が破綻しても、証拠金の返還をJCCHに直接請求することができます。

■ 分離保管制度

商品先物取引業者は、委託者の保全対象財産(委託者から預かった資産からJCCHに預託した証拠金を除いたもの)についても、信託や銀行保証等により保全することが義務付けられています。

■ ペイオフ(保護基金)

さらに、日本商品委託者保護基金(保護基金)によるペイオフ制度も設けられています。取引業者の破綻の際、上記によってもなお委託者債権を弁済しきれない場合は、保護基金から委託者に1人当たり1,000万円を限度として弁済されます。





■新潟コシ(新潟県産コシヒカリ)

新潟県産1等コシヒカリの価格形成・・・『新潟コシヒカリ』の指標価格

「新潟県産コシヒカリ」を標準品とした単一産地銘柄の上場商品です。新潟県産コシヒカリの価格指標として、1年先までの先物価格を発信しています。[取引・受渡単位は25俵(1.5トン)・受渡地は新潟県内の本所指定倉庫]

■秋田こまち(秋田県産あきたこまち)

秋田県産1等あきたこま치의価格形成・・・『あきたこまち』の指標価格

「秋田県産あきたこまち」は新潟コシに続く単一産地銘柄の上場商品です。秋田県産あきたこま치의価格指標として、1年先までの先物価格を発信しています。[取引・受渡単位は204俵(12.24トン)・受渡地は秋田県内の本所指定倉庫]

■東京コメ(栃木県産あさひの夢、群馬県産あさひの夢、埼玉県産彩のかがやき、千葉県産ふさおとめ、千葉県産ふさこがね)

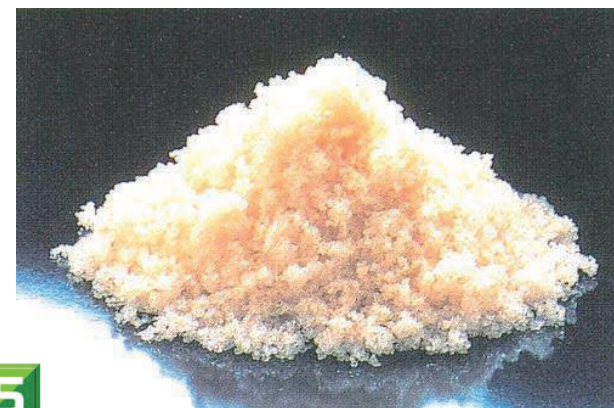
国内産1等米の価格形成・・・『業務用米』の指標価格

産地・銘柄を問わず、すべての日本のお米の価格形成を担う、いわば一般米の上場商品です。代表的な一般米として「栃木県産あさひの夢、群馬県産あさひの夢、埼玉県産彩のかがやき、千葉県産ふさおとめ、千葉県産ふさこがね」を標準品と位置付けています。[取引・受渡単位は200俵(12トン)・受渡地は東京都特別区の本所指定倉庫]

■とうもろこし



■粗糖



■米国産大豆



■小豆



■さまざまなツールによる情報発信

スマートフォン向け相場情報をはじめ、Website・Facebook・Twitter・メールマガジン(堂島News)等により、本所の最新情報を提供しています。

各種情報ページには、QRコードで簡単にアクセス出来ます。※堂島Newsはアクセス後、お申込みサイトから登録して下さい



<http://www.ode.or.jp>



http://twitter.com/ODE_02



<http://www.facebook.com/ricefutures>



http://www.ode.or.jp/other/kome_study.html
ページ中央下の『堂島News』お申込みより登録して下さい。

スマートフォンサイト



取引要綱

	新潟コシ	秋田こまち	東京コメ
標準品	新潟県産コシヒカリ 農産物検査法に基づく検査 規格水稻うるち玄米1等品	秋田県産あきたこまち 農産物検査法に基づく検査 規格水稻うるち玄米1等品	群馬県産あさひの夢、栃木 県産あさひの夢、埼玉県産 彩のかがやき、千葉県産ふさ おとめ、千葉県産ふさがね 農産物検査法に基づく検査 規格水稻うるち玄米1等品
供用品	新潟県産コシヒカリ 農産物検査法に基づく検査 規格水稻うるち玄米1等品及 び2等品	秋田県産あきたこまち 農産物検査法に基づく検査 規格水稻うるち玄米1等品及 び2等品	国内産米 農産物検査法に基づく検査 規格水稻うるち玄米1等品及 び2等品
呼値及び 呼値の単位	60kg(1俵) 10円		
取引時間	午前9時～午後3時		
取引単位 受渡単位	1枚 1,500kg(25倍)	1枚 12,240kg(204倍)	1枚 12,000kg(200倍)
限 月	2月、4月、6月、8月、10月、12月		
納会日	偶数月の20日(当日が休業日に当たるときは前営業日)		
受渡書類	本所が定める荷渡指図書及び在庫証明書		倉荷証券
受渡場所	本所指定の指定倉庫		
新甫発会日	納会日の翌営業日		
制限値段額	300円(通常時)		



大阪堂島商品取引所
OSAKA DOJIMA COMMODITY EXCHANGE

〒550-0011
大阪市西区阿波座1丁目10番14号
TEL (06) 6531-7931 (代表)
FAX (06) 6541-9343
URL <http://www.ode.or.jp>

東京支所

〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町15番15号 食糧会館7階
TEL (03) 4334-2185
FAX (03) 4334-2186